

鈴鹿市民の コミバスをよくする会ニュース

(第19号・2016年6月発行)

発行:(略称)コミバスをよくする会
事務局(仮):辻井良和 方
〒510-0234 鈴鹿市江島本町31-36
電話 059-386-0529 FAX 059-386-0646

総会から今まで

アンケート活動も 更に進める

第3回総会を、4月12日に鈴鹿市社会福祉センターで開き、今までの運動を振り返りながら今後の運動のすすめについて方を話し合いました。

その中で、鈴鹿市当局の中で公共交通の担当や役割が変わり、「商業観光課」から「都市計画課」へと移りました。私たちの求める「無料のオンデマンド交通」は、元もと商業観光課では目的が合わないと考えていたので、街づくり担当の都市計画課への移行はより正しい方向への変化だと考えます。

総会では、改めて今までの私たちの考えをまとめておさらいし、全国の経験を学ぶときも鈴鹿市の実態に合い、必要な条件を再確認しておこうと、方針を議論しました。その主な要素は右記の通りです。

なお、総会後の会員継続切り替え時期を4月以後に行い、新年度会費の納入者には記念品として「タオル」をお渡しすることにしました。年度切り替えにご協力をお願いいたします。

また、コミバスの会アンケートは、引き続きスーパー前での実施と、高齢者関係団体をお願いして行うことを、並行して進めることと、集約の目標を1万人として引き続き追求することにしました。ご協力をお願いいたします。(辻井良和)



4月30日、今年初のアンケート活動は、オークワ木田店様の店頭をお借りして行いました

次回は、6月18日(土)
午前中、マックスバリュ
若松店様店頭で行います。

■鈴鹿市に於ける生活交通システムの原則とは

- 1, 鈴鹿市内のどこの町に住んでいても、無料で利用できること。
- 2, 利用者は、あらかじめ登録しておくこと。
- 3, 利用の目的は問わないこと。
- 4, 自力で乗車し、降車できる程度の体力を保持していること。
- 5, 障害者の交通は、別途鈴鹿市として保障すること。
- 6, 原則として行政区を1ないし3合わせた地域で、小さな運行区域を設け、複数の普通車の小型バスを運行する。
- 7, 鈴鹿市役所、鈴鹿中央総合病院、中央図書館、鈴鹿ハンター、ベルシティー、鈴鹿サーキット、F1、近鉄白子駅、白子サンズ、カーマ玉垣店を停留所とする大きな循環バスを、右回りと左回りで片側につき1時間4本程度運行する。
- 8, 小さな運行区域のバスは、原則として30分ごとに近くの大きな循環バス停留所へ接続する。
- 9, 運転手は、定年退職者を原則とし、最長10年間とする。
- 10, 事故発生時は、自動車保険による補償を確保し、争いのある場合は裁判の判決に従う。
- 11, 財政は、鈴鹿市の公費による負担とし、必要に応じて商業施設などの受益企業に負担金を要請する。
- 12, 鈴鹿市に管理責任者、オペレーターをおくこととする。
- 13, システムは、東京大学大学院のものを採用することとし、研究に協力することとする。

発車オーライ

★「オンデマンド交通」のアンケートをお願いしていると、必ず聞ける声は「こんな良いことを、鈴鹿市はなぜやらんの」という声です。

★無料で電話やスマホから連絡すれば、直に迎えに来てくれて目的地に行けることが理解され始めています。スーパーの前でアンケートしている、初めは何をしているのかと近寄ってきて、話しをすると「そら必要やな、もうじき車降りるで、早う実現してくな」と、詳しく説明を求める方が多いのがこのアンケートの特徴です。

★特に提案している、市役所、中央総合病院、社会福祉センター、鈴鹿市文化会館、ハンター、サーキット、稲生のF1、近鉄白子駅、玉垣のカーマなどを巡る「大循環バス」は是非ほしいという声が多いようです。★鈴鹿市の財政は、このバスシステムを実現するだけの余裕もあります。「市長はどう考えてるのや」と、市長の考えや姿勢をたずねる方が増えてきたのも、アンケート活動が進んできたからだと思えます。今年さらには一歩進みたいと思えます。

コミバスをよくする会 第3回総会

2016年2月9日 鈴鹿市社会福祉センター

第3回総会議案書から抜粋して掲載します。
今年度の活動に、ご理解とご協力をよろしくお願ひします。

(1) この2年間の主な活動

・前回、第2回総会 2014-2-12

4つの重点活動を決めました。

①1万人アンケート ②見学会 ③地域懇談会 ④鈴鹿市との懇談

①1万人アンケート → 2,546人

・スーパー前アンケート活動 10回 ・老人会訪問

②見学会 ・2014-5-13 玉城町元気バス 「生活交通」を学ぶ

・2015-7-2 玉城町元気バス

③地域懇談会 ・9カ所

④鈴鹿市との懇談

・2015-12-24 市(副)長懇談 市幹部9名、コミバスの会11名

・2015-12-07 「Cバス運賃の来年度値上げの中止を求める請願書」提出 → 賛成7で否決

⑤その他

・ニュースの発行 8回

・会員 142名

・役員会 2カ月に1回 ・事務局会議 2カ月に1回

・粗品 会費集金時にタオル、スーパー前アンケートでポケットティッシュ

＜アンケートに書かれた声・意見から抜粋＞

- ・今後利用する必要が生じてくると思う。その時、地域を細かく巡回する方が便利であろうと思う。
- ・高齢になったら市内は公共の交通手段で移動したいと思う
- ・地域性に合っていると思う
- ・年配者・妊婦・お子様連れには便利ですね
- ・一つの叩き台と思います。今後財政的な件、効率的な件の肉付けが必要と思います。
- ・高齢者の立場でよい事だ
- ・子供にとっても使いやすくなると思うので
- ・高齢者の時代が来ています。中央はもちろん地域循環線是非やってほしい
- ・市内の色々な所に行ってみたくから

(2) コミバスをよくする会アンケート 1,000人集計

年令	実数	%	※自宅近くにコミバス路線ができれば利用しますか。	
1, 10才~29才	23	2.3%	1, よく利用すると思う	313 34.0%
2, 30~49才	106	10.8%	2, たまに利用すると思う	367 39.8%
3, 50~69才	313	31.8%	3, 当分利用しないと思う	114 12.4%
4, 70才以上	543	55.1%	4, わからない	127 13.8%
性別	(4)「中央循環線」と「地域循環線」の提案についてどう思われますか。			
1, 男	285	31.5%	1, 積極的で良い提案だと思う	570 84.4%
2, 女	620	68.5%	2, 良い提案だとは思わない	27 4.0%
(1)コミバスを利用したことはありますか。			3, 現在の路線を拡充する方がよい	32 4.7%
1, 週1回以上利用	14	1.4%	4, その他	46 6.8%
2, 月1回以上利用	43	4.4%	(5)コミバスが市内をくまなく走れば、どんな使い方が出来ると思いますか(複数)	
3, これまでに1回以上	167	17.1%	1, 買い物に出かけられる	662 28.8%
4, 利用したことはない	751	77.0%	2, 図書館へ子どもを行かせられる	149 6.5%
(2)週1回、月1回以上利用している方にうかがいます。			3, 体育館やプール、スポーツジムへ行ける	97 4.2%
※利用目的は何でしたか(複数)			4, 市民会館や文化会館、ジェフリーすずかに行ける	321 14.0%
1, 通勤・通学	6	4.2%	5, 公民館の講座に行ける	174 7.6%
2, 買い物	59	41.0%	6, お医者さんへ行ける。病院へ見舞いに行ける	675 29.4%
3, 病院への通院	53	36.8%	7, 山の方へ歩きに行ける	128 5.6%
4, その他	26	18.1%	8, 海の方へ行ける	55 2.4%
※利用者の立場から改善してほしいこと(複数)			9, その他	34 1.5%
1, 本数を増やしてほしい	114	41.3%	(6)オンデマンド交通、オンデマンド方式のバスをご存じですか	
2, 乗り継ぎを便利にしてほしい	69	25.0%	1, 知っている	160 17.9%
3, 料金を下げてほしい	25	9.1%	2, 知らない	733 82.1%
4, 乗り継ぎ料金を下げてほしい	13	4.7%	※知っている方にうかがいます。どこで知りましたか	
5, コースを増やしてほしい	50	18.1%	1, テレビ、新聞、雑誌など	69 50.0%
6, その他	5	1.8%	2, 友人・知人に話を聞いて	45 32.6%
(3)利用したことがない、または数回しか利用していない方に			3, 何となく	24 17.4%
※利用したことがない理由は何ですか			「地域懇談会」※近くで開催されたら参加されますか	
1, 近くにコミバスの路線がない	500	59.5%	1, 参加する	164 12.7%
2, 車の方が便利	272	32.3%	2, 都合がつけば参加する	485 37.5%
3, その他	69	8.2%	3, わからない	380 29.4%
			4, 参加しない	265 20.5%

(3) 今後の活動方針 私たちのめざすもの

今後2年間の活動が、高齢者の「生活交通」を、どのような形で実現していくかを決めていく重要なとき。

今期も、①1万人アンケート ②地域懇談会 ③見学会 ④鈴鹿市との懇談を、重点活動にすすめますが、とくにスーパー前アンケート活動を重視し、参加スタッフを増やす努力をします。

<私たちのめざすもの>別紙、議論。

<今後の要求の2つ力点>

①乗車運賃無料

有償運行は、地域公共交通会議の理解が得られにくく制約が多い
会社や商店の協賛金、利用者の年間登録料などで経費の一部をまかなう

②地域ぐるみで元気なまちづくり → 民間委託では出来ない。地域社協がベスト。 病院、買い物の利便性にとどまらず、介護予防、公民館活動、温泉、公園など 高齢者の外出を支援し、元気なまちづくりにつなげる。医療費削減にも。

(4) 会計報告

鈴鹿市民のコミバスを良くする会 会計報告 2014.1.1～2015.12.31				
収入		支出		
前年度繰越金	161,875	活動費	玉城町元気バス見学会2回	100,850
個人会員会費2014年	156,000		タオル代 300+120本	101,706
個人会員会費2015年	141,000		アンケート印刷	29,000
団体会員会費	73,000		スーパー前アンケート、ティッシュ他	12,810
カンパ	5,000		ポスターなど印刷	5,080
		郵送費	ニュース郵送	54,440
		印刷	印刷・コピー	3,616
		事務用品	用紙・封筒・インク	13,807
			次期繰越金	215,566
収入合計	536,875		支出合計	536,875

(5) 役員選出

【会長】辻井良和 【副会長】西村敏一

【事務局】田中美代子、萩森美知子、宮崎ヨシ子、中川信子、橋詰圭一

【役員】藤田和美、加藤正美、勝谷鐵幸、中川一春、糸柳章司、田中清重、佐々木馨、豊留正利、林 和代、(新)樋口 出、矢板橋充子、前田みね子、前田和子

※事務局と役員協力者は、途中で補充していきます。